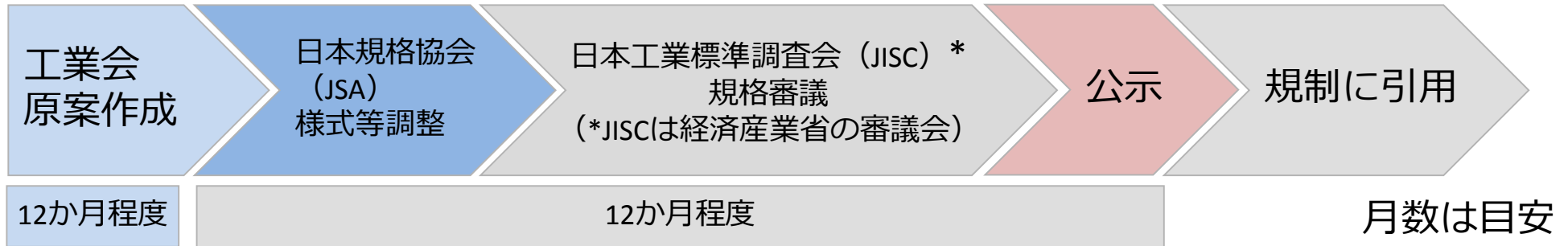


JIS規格に関する現状と取組の方向性について

経済産業省 産業技術環境局
基準認証政策課

JISの改定プロセスの現状・取組の方向性

JIS改定プロセスの現状



→ISO/IECの規格発行からJISに反映されるのに数年かかり、更に遅れて規制に引用されるケースもある。

(具体例) 電気用品安全法の技術基準の整合規格の一つJ60335-1 *は、2010年5月に発行したIEC規格 (IEC60335-1) を基に改正されたJIS規格 (JIS C9335-1 : 2014年2月) を受けて2015年7月に通達として発出されている。

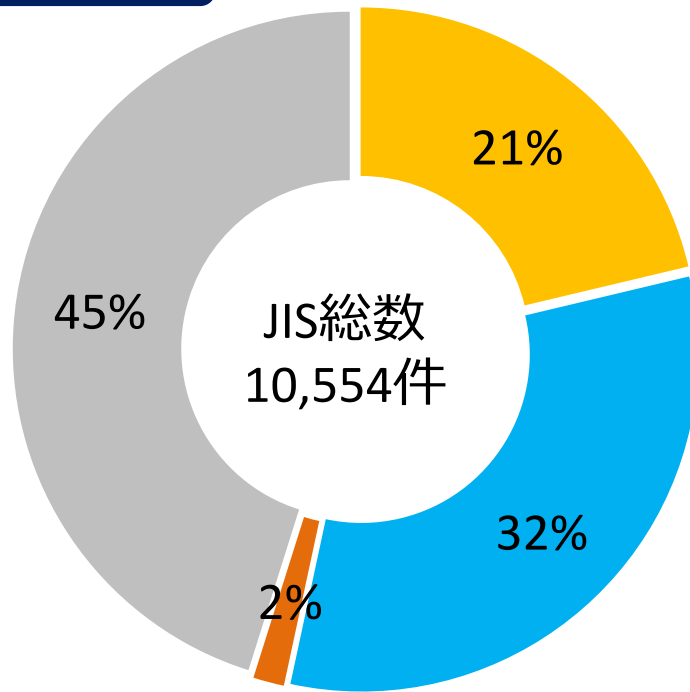
(*は、家庭用及びこれに類する電気機器の安全性 – 第1部 : 通則)

取組の方向性

- ① JISの審査プロセスについて、より効率的な運用に見直し、規格審議を迅速化する。
 - ② 強制法規に引用される可能性のあるJISについて、関係省庁への周知を徹底する。
- ※ ISOの動向にあわせてJISの見直しを決定する判断は各工業会にゆだねられている。

JISの英語での発信の状況・取組の方向性

JIS英訳・閲覧の状況



- JISと国際規格の内容が完全一致（英訳不要）
- 国際規格を基に技術的差異を明記した上でJISが策定されている場合
- JISと国際規格との技術的内容が異なる場合
- JISに対応する国際規格がない場合

2016年10月28日現在

取組の方向性

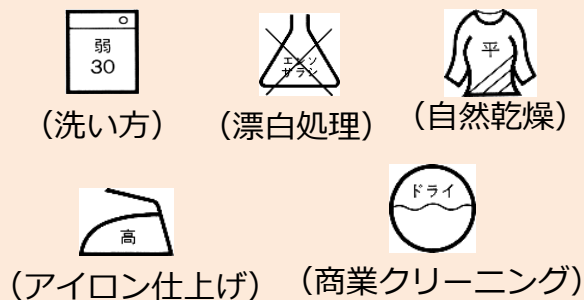
国際規格の内容が完全に一致していないJISのうち約6割の英訳が出されているものの、案内が十分でないとの指摘があることから、JETROのホームページ等で広く紹介する。

参考事例：洗濯表示に関するJISの改定について

改定概要

- 洗濯表示のJISを国際規格（ISO）と整合し、新しいJISを制定した。
2016年12月から、家庭用品品質表示法に基づく繊維製品について、国際規格と同じ新しい記号の表示が義務づけされる。

現行の記号の例 (JIS L0217)



新しい記号の例 (JIS L001)



期待できる効果

- ①消費者にとって：今まで無かったタンブル乾燥の記号などが追加され、家庭での手入れがより適切に行えるようになる。海外で買った服を迷わずに洗えるようになる。
- ②メーカーにとって：記号と合わせて試験方法JISもISOと整合化したため、輸出入の際、試験を重複して実施する必要がなくなる。